

## (7) 日吉ダム（京都府南丹市）

### ◆実施主体

京都府南丹市（旧日吉町）、独立行政法人水資源機構日吉ダム管理所

### ◆水源地域活性化調査時の活動内容

#### ①星と光のページの開催

- ・冬の日吉ダムを背景に、静寂とにぎわいのコントラストを演出するイベントを実施。
- ・「地域に開かれたダム」整備計画で整備された、ひよし温泉「スプリングスひよし」のオープンイベントを実施し、観光・健康増進施設のスプリングスひよしを発信。

#### ②明治鍼灸大学（現明治国際医療大学）とスプリングスひよしの連携による健康増進プログラムの開発

- ・健康という観点から、地域資源を活用した健康増進プログラムを作成し、それらの案に対し「スプリングスひよし」利用者から意向を把握。

#### ③ピオトープに関する環境学習会

- ・地元の小学生を対象とした、環境学習会を実施。原石山跡地のピオトープ整備予定地をフィールドとし、野外学習会、ノコギリによる流木の切断などを実施。将来のピオトープ整備に対する小学生のアイディア・意見を聴取。

#### ④水質と環境に関する学習会

- ・日吉ダム下流の亀岡市の小学生を対象に、水源地域を理解してもらうことを目的とした水質と環境に関する学習会を実施。パックテストによるダム貯水池等の水質観察、測定結果のまとめを講評。

### ◆地域の関わり

日吉ダム水源地域において実施された水源地域活性化調査は、「行政」が中心となり、「ダム管理者」、「コンサルタント」、「大学」、「地域住民」、「都市住民」の6主体が連携して実施しました。

各主体の役割分担

	指揮者・リーダー	起案者・発案者	専門家・助言者	宣伝者	事務者	支援者・後援者	同好の士・同調者
行政	●	●		●	●		
ダム管理者	●	●		●	●		
コンサルタント		△			△		
大学		●	●				
地域住民						●	
都市住民						●	
関連施設						○	
小学生							○

●水源地域活性化調査以降も継続  
△水源地域活性化調査以降は撤退  
○水源地域活性化調査以降に参画

#### ◆水源地域活性化調査以降の展開

水源地域活性化調査時に実施した『星と光のページェント』を引き継ぐ形で『水の杜フェスタ』を開催し、スプリングスひよしを拠点としたダム周辺地域の活性化を図っています。また、地元大学と連携し、健康増進プログラムに加え、地域の食材を利用した薬膳料理を開発し、スプリングスひよしで提供しています。

また、将来的な一般公開を視野に入れた原石山のビオトープの整備や、地元小学生を対象とした環境学習会などを実施しています。

#### ◆課題

地域にまちづくり関係のNPO 団体がなく、関心のある住民が多くありません。そのため、イベント時にボランティアを募集しても集まりが悪く、行政の職員で対応しています。

市町村合併等の影響もあり、活動を継続していくための資金の確保が困難となっています。

#### ◆まとめ

日吉ダム水源地域では、ダム管理者が主体となって策定した『「地域に開かれたダム」整備計画』や「水源地域ビジョン」の推進などが発端となり、「施設の整備」や「大学との連携」による「健康増進プログラムの作成」につながりました。

特に、地元大学と連携することで、大学の専門知識を活用しながら、ターゲットを絞ったプログラムメニューや、地域の食材を利用した薬膳料理を開発することが可能となりました。



日吉ダムビジターセンター



府民の森

活動の流れ (日吉ダム)

